

# 平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

## 1、事業の成果

プレアビヒア寺院は、2012年7月タイ・カンボジア両国軍隊が寺院地域から撤退して以降、平穏な状態が続いている。

昨年2014年12月初め、ユネスコ国際委員会ICCがカンボジア・シアンレップで開催され、日本、アメリカ、中国、インド、等7ヶ国にタイ、カンボジア両国が参加し、プレアビヒア寺院の復興支援を決定した。（日本は日本大使、当会森田会長はユネスコの要請にてオブザーバーとして出席）両国が出席した公式の国際会議の場で寺院の復興支援を決議したことにより、ここ数年のプレアビヒアをめぐる両国紛争は落ち着いた。更に同12月20日タイ・バンコックで開催されたメコン川拡大流域首脳会議では、両国外相が今後の協力を約し握手する様子がTV報道されこれを裏付けている。

また、これに先立ち12月2日、日本外務省は渡航情報を改定し、プレアビヒア地域をカンボジア全域と同じ「十分注意してください」という危険情報の中でも1番下の安全サイドに引き下げた。

このように、プレアビヒアをめぐる国際環境は急速に改善されつつあり、各国が寺院復興支援に着手できる環境が整って来たと言える。

今年度当会の事業活動は以下の通りであるが、現地での活動推進のため検討した現地駐在員の派遣は、諸般の事情により実現出来なかった。しかし、植樹活動は3年目も継続して進めており、12haの土地では小規模ながら農業支援活動に着手している。このような中、学生隊の活動が共同通信社の記事となり、全国地方各紙に掲載され反響を呼んだ。また、第11回JICAグローバル教育コンクールで、第9次学生隊の応募写真が団体奨励賞を受賞し、これを記念して3月に行った報告会は沢山の皆様のご参加をいただき好評だった。

また、こうした環境改善を踏まえ、事業推進のための体制強化を図るべく、認定NPOの資格取得を準備し、3月に東京都へ仮認定を申請した。現在審査中であり、資格取得後は税務上の恩典を受けられることから、今後の事業活動を大きく推進すると期待される。

### (1) 植樹活動

今年度が3年目となる植樹活動は、現地住民が植樹するだけでなく、その後も苗木の養生生育を持続して行うことが重要と認識して行われた。このため住民が日頃通える植樹地域に、やがて果実が実ることを期待出来るような樹種の選定を行っており、これに合わせ井戸の掘削や道路補修、用具倉庫等の環境整備を行った。

### (2) 農村支援活動

当会が貸与されている12haの土地を、モデル農場としての役割も果たすよう整備を開始した。植樹地域にも選定し、苗木の養生と共に近隣住民や子供たちが日ごろ作業を行う場所となることを意図しており、次年度以降の具体的な活動につながる準備をおこなった。

### (3) 教育支援活動

今年度も学生隊は9次、10次と2度にわたる派遣を実施。現地住民の生活調査や小学校での交流活動を継続して行った。特に毎年行われている写生大会では、小学生の作品が第45回世界児童画展で見事銀賞を受賞した。当初鉛筆で線を描くだけだった子どもたちが、今では水彩で色彩豊かな絵を描くというように着実に成果を上げている。運動会をはじめ小学校での様々な活動に参加する子どもたちの笑顔が住民の希望につながりコミュニティ醸成に寄与していると高く評価されている。

### (4) 会員増強活動

メンバー数(平成27年3月31日現在)

正会員	名	賛助会員	名	(うち一般会員	名、学生会員	名、団体会員	名)	計	名
対前年比									

ホームページの更新やニュースレターの発行等が進まず、会の活動を皆さまの活動というように身近に感じて頂けなかったことを反省し、次年度はより積極的な広報活動を実施することを期している。

2 事業の実施に関する事項  
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
アジア地域の遺跡周辺自然環境保全、修復事業	遺跡周辺整備 (境内の遺跡を除く周辺部コンセプト作成、当面必要となる事項の検討)	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	バッファークゾーン(環境保全区域)の保全整備 (遺跡周辺20キロメートル四方内の地域)コンセプト作成、提案協議、現状の調査	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	現地調査 基本構想 提案協議
植林、植樹、苗木の育成および事前調査事業	植林 (遺跡周辺、バッファークゾーン、エコビレッジの植林)事業計画の作成準備、第3回植樹祭開催	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	382人	住民45,000人	植樹祭 3,757
地域住民の生活向上と自立のための人材教育、職能訓練、農業支援事業	農村開発支援 エコビレッジオーガニック農業調査、導入・普及、(地域住民の生活向上とコミュニティ形成)モデル農園による農業技術普及、	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、タイ国農場、東京法人事務所	70人	住民45,000人	農業調査、オーガニック農業導入準備 1,217
遺跡並びに周辺地域の観光資源開発支援事業	ウェルカムビレッジ(エコツア客用滞在施設)開発 宿泊設備の整備 コンセプト作成、提案、協議 中長期の事業計画の作成準備	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、滞在者3,000人/年 観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	観光プログラム開発 スタディツアー (現地体験研修) エコツアーリズム (環境問題体験ツアー) ヘリテージツアー (遺跡巡りツアー) などの開発支援	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	スタディツアー参加者10人、観光客200,000人/年 カンボジア住民50人×365日のべ18,000人/年間(雇用促進受益者)	プロジェクト調査費
子どもたちのための教育支援事業	教育支援プログラム策定 (文化遺産・環境保全教育) 小学校学校生活環境改善教育、 写生大会、運動会	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	50人	子どもたち10,000人	写生大会、各種教育支援 489

日本のNGOと海外のNGOとのネットワーク調整及び交流事業	ネットワーク作り 日本及び海外他NGOとのネットワーク作り カンボジア留学生との交流	年間	東京および全国各地 韓国、フィリピン、ネパール、台湾、マレーシア、中国 カンボジア国ブレアビヒア遺跡周辺	10人	NGO関係者 1,000人 カンボジア留学生300人	連絡、会議費
遺跡全般に係る広報事業	広報活動 ホームページ 報告会	年間	カンボジア国ブレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所、東京、栃木県	20人	関心ある一般市民2,000人	ホームページ 124

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
物品販売事業	なし	なし	なし	なし	0
機関紙等への広告掲載事業	なし	なし	なし	なし	0